

学校教育目標	明るい学校 仲良く進んで学ぶ子
目指す学校像	明るい学校 活力ある学校 開かれた学校
重点目標	1 真の学力の育成 2 児童の心のサポートと児童同士のよりよい人間関係づくり 3 保護者・地域との協働活動の推進 4 安心安全な教育環境の整備 5 教職員のキャリアに応じた指導力の向上と健全な職場環境づくり

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標				年度評価			実施日 令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	<現状> ・さいたま市学習状況調査において、国語においては市平均に概ね結果が得られたが、算数・理科・社会においては課題が見られた。 ・エバンジェリスト、ICT支援員等により教育系アプリの活用による情報提供ができています。 <課題> ・学習規律のさらなる定着を図り、「児童が主体的に学ぶ授業」を展開する必要がある。 ・児童が反復学習・習熟学習を行う時間が不十分である。	・主体的に学ぶ児童の育成	・「学びの指標」の「主体的な学び」を意識した学習の展開する。 ・自分の意見を伝えあい、考えを認められる場を設定し、自己肯定感を高める。	・学校評価「自分から進んで学習していますか」の児童保護者の肯定的回答が90%以上 ・学校評価「ふだんの生活や授業の中で自分の意見をはっきりと言っていますか」の児童の肯定的回答が90%以上				
		・ICTの積極的な活用	・SSDBによる授業の振り返りを単元ごとに行い、学習内容の確実な定着を図る。 ・スタディサプリ、ドリルパークの活用により課題の反復を行う。	・学習の振り返りを活用し、状況に応じた個別指導を行うことができたか。 ・学びの指標「ICTの効果的な活用」が3.3以上となったか。				
2	<現状> ・学校評価「みんなと仲よく協力して過ごしていますか」の児童の「そう思う」という回答は68% ・教員が日々の児童の様子を把握し、児童理解研修などを通し、情報共有、適切な対応を意識している。 <課題> ・コミュニケーション能力の不足から自分の思いをうまく友達につたえることができない児童がいる	・児童同士のよりよい人間関係の構築	・特別の教科道徳や人間関係プログラム、いのちの支え合いの授業等を通し、思いやりの気持ちを育む。 ・児童主体によるいじめ防止キャンペーンの充実	・学校評価「みんなと仲よくしていますか協力していますか」の児童の「そう思う」の回答を75%以上 ・「いじめはよくないことだ」という意識を高めることができたか。				
		・児童のひとりひとりの支援に向けた教育相談体制づくり	・日常の児童の見届けや心と生活のアンケートやおはようメーターなどにより児童の実態を把握 ・事案発生時に報告連絡相談見届けによる組織的な対応	・児童の実態に応じ、組織的に迅速に対応することができたか。 ・学校評価「困ったことや悩み事がある時、先生に相談すると話を聞いてくれますか」の児童の肯定的回答が90%以上。				
3	<現状> ・昨年度の熟議により「地域に愛される子ども育成」を策定した。 ・地域の方々は、本校の教育活動に協力的である。 <課題> ・地域の教育力を本校の取組にさらに生かしていきたい。	・教育活動の情報発信	・児童の活動について、学校日より、学校HPにて積極的に情報提供を行う。 ・学校運営協議会、SSNにおいて学校、地域の状況について情報共有をする。	・学校評価「学校は情報提供を適切に行っている」の保護者地域の肯定的回答が90%以上となったか。 ・学校HPを月2回以上更新できたか。				
		・地域の人材活用	・学校支援ボランティアについて各学年と検討、活用を進める。 ・児童と地域の方との交流の場を設定する。	・学習支援ボランティアの活用をし、学習効果を高めることができたか。 ・感謝の会や児童によるお礼の手紙により交流を深めることができたか。				
4	<現状> ・施設の修繕等について、緊急性、学校予算等を踏まえ、児童の安全を最優先するよう取り組んでいる。 ・新児童棟の使用が始まり、よりよい使用の仕方について検討をしている。 ・設備の不具合による事故は昨年度は0件であった。 <課題> ・様々な事案を想定し、教職員の危機管理意識について、さらに高める必要がある。	・新児童棟の適切な使用 ・便所改修工事の実施	・新児童棟使用学級からの要望への迅速な対応 ・便所改修工事に伴い関係機関との連携を密にとる。	・新児童棟で学校生活を進めるための必要物を用意することができたか。 ・便所改修工事に伴う教育活動への影響を最低限にとどめることができたか。				
		・安心安全な教育環境の整備	・全教職員による毎月の安全点検及び管理職による日常点検の実施による不良か所の早期発見、早期対応。 ・危険個所に関する予知意識を高め、事故発生を未然に防ぐ。	・毎月10日の安全点検後3日以内に状況集約、対応策を打ち出すことができたか。 ・不審者対応訓練、竜巻防止訓練等を実施し、さらなる改善点を見出すことができたか。				
5	<現状> ・教員同士の授業を見合い、意見交換する場を設定している。 ・初任者等経験の浅い教員が多い <課題> ・児童に向き合う時間、教材研究の時間をさらに確保する必要がある。	・指導力の向上	・教職員のキャリアや意向に応じた研修奨励 ・メンター、メンティによるチームを組織し、経験の浅い職員の育成を図る。 ・管理職による授業参観を行い、学びの指標を踏まえた指導助言を行う。	・学校評価「校内研修等で教職員の指導力向上や児童の学習活動の充実を図っているか」の肯定的回答90%以上 ・学びの指標「基礎的スキル」が3.7以上				
		・健全な職場環境づくり	・働き方改革推進委員会を中心とした改善が可能と聞かれる業務の早期変更実施。 ・SSSの活用による教員の業務軽減	・時間外在校時間の縮減 ・学校評価「学校は働き方改革をしているか」の肯定的回答90%以上				

